

令和8年度（運動・文化）部活動の方針

目標

- ①興味・関心を同じくする生徒が学年の枠を越えて集い、個々の目標を共有しながら、互いに切磋琢磨し合うなかで、心身ともにたくましい人間性や豊かな自己を確立する。
- ②生徒の自主的活動を促進し、興味・関心を追究させる中で生徒それぞれの個性・能力の伸長を図る。
- ③学年の枠を超えた集団生活や対外活動を通して、社会性や連帯感を育てる。

本校の運営方針

<活動時間>

- ①本校は山間地であること、バス通学の生徒がいることから市街地の学校のように放課後の部活動の時間を確保する事が難しい。県の指針にある「放課後の活動が行えず、練習時間が確保できない場合（③学校の特別な事情）」に該当するものと考え、朝練習を実施する。
- ②休日の部活動は行わない。
- ③長期休業中の部活動は行わない。
- ④テスト3日前は部活動を行わない。
- ⑤新人戦以降は、部活動は行わない。

<指導体制の工夫>

- ・本校の施設、生徒数、教員数を考慮し、①バドミントン部 ②陸上部 を置く。加入については、希望制とする。これから数年は生徒数が少なく、部の運営が厳しい状況ではあるが、入部の際の選択肢は多いほうが良いので、できる限り現状を維持していく。
- ・かつてはスキー競技が盛んな地域だったが、少子化に伴い、スキー競技を行う生徒がいなくなった。保護者や乗鞍スキークラブと連携して選手を育成していく事も視野に入れていく。
- ・部活動顧問以外の先生方にもご協力いただき、監督者不在の状況での活動を避ける。
- ・生活のリズムや健康管理に気を配り、健康を害したり、学業に支障をきたしたりすることのないように配慮する。（特に、冬場のスキーが行われる時期）

学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた取組

- ・部活動参観日及び懇談会を実施する。その際、顧問は部活動運営計画を作成し、保護者に理解と協力を求める。
- ・教員数の減少などの現状を保護者に伝え、「学校としてできること、できないこと」について理解を得ながら、協力関係を築いていく。
- ・部活動懇談会の際に、大会や練習会の引率等で部活動運営に協力していただくように依頼する。
- ・本年度の新人戦以降は完全に地域展開し、学校としての部活動は行わない。